

北但ごみ処理施設整備・運営事業の
事業者選定に関する客観的評価結果の公表

北但ごみ処理施設整備・運営事業を実施する民間事業者を決定したので、その客観的な評価の結果をここに公表する。

平成25年9月24日

北但行政事務組合
管理者 中 貝 宗 治

1 事業名称

北但ごみ処理施設整備・運営事業

2 対象となる公共施設の種類の種類

廃棄物処理施設

3 公共施設の管理者

北但行政事務組合
管理者 中 貝 宗 治

4 本施設の概要

(1) クリーンセンター

ア 処理方式：ストーカ方式（受入廃棄物：可燃ごみ、可燃残渣、乾燥汚泥、脱水汚泥）

イ 施設規模：71t/24h×2 炉＝142t/日

(2) リサイクルセンター

ア 処理方式：破碎設備（受入廃棄物：不燃ごみ・粗大ごみ）

選別設備（受入廃棄物：ビン・カン、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装）

保管設備（受入廃棄物：新聞・雑誌・OA用紙、段ボール、紙パック、蛍光管、乾電池）

イ 施設規模：19t/5h

【日平均処理量】破碎設備：5.43t/日

選別設備：2.77t/日（ビン・カン）、0.32t/日（ペットボトル）、1.24t/日（プラスチック製容器包装）、0.50t/日（紙製容器包装）

保管設備：0.02t/日（段ボール）、0.06t/日（蛍光管）、0.13t/日（乾電池）

(3) 管理棟（環境啓発機能含む）

(4) その他施設

ア 計量棟

イ ストックヤード

ウ 付帯・外構施設（洗車場、車庫棟、駐車場、構内道路、門・囲障、管理施設（住民が定期的に搬入車の状況を確認するための施設）、井水工事等）

エ 周辺整備（拠点施設ゾーン、利用・体験の森ゾーンの整備）

5 事業の内容

(1) 事業方式

DBO方式（公設民営方式）

(2) 事業期間

ア 設計・建設期間：平成25年10月（予定）から平成28年3月31日まで

イ 運営期間：平成28年4月1日から平成48年3月31日までの20年間

ウ 造成工事期間：平成23年11月29日から平成26年6月30日まで

（ただし、造成工事は組合の業務範囲である。）

(3) 事業の対象となる業務範囲

ア 事業者の業務範囲

(ア) 設計業務

- ・本施設の設計（クリーンセンター、リサイクルセンター、管理棟、その他施設）
- ・測量・地質等の組合が提示する調査結果以外に必要な事前調査
- ・クリーンセンター、リサイクルセンター等に係る生活環境影響調査の支援
- ・組合の交付金申請支援
- ・その他関連業務

(イ) 建設業務

- ・本施設の建設（クリーンセンター、リサイクルセンター、管理棟、その他施設）
- ・ユーティリティー（井戸、上下水道等）施工
- ・その他関連業務

(ウ) 運営業務

- ・受入業務
- ・運転管理業務
- ・維持管理業務
- ・環境管理業務
- ・情報管理業務
- ・環境啓発等業務（見学者対応支援、周辺環境を活用した環境教育支援等）
- ・その他関連業務（近隣対応、警備等）

イ 組合の業務範囲

(ア) 設計・建設業務

- ・用地の確保
- ・近隣対応等
- ・生活環境影響調査
- ・本施設の交付金申請手続き

- ・本施設の設計・建設監理
- ・その他これらを実施する上で必要となる業務

(イ) 運營業務

- ・本施設への一般廃棄物等の搬入（関係市町及び住民による搬入）
- ・直接搬入ごみの処理料金徴収
- ・資源化業務（本施設より搬出される資源化物の売却事務。ただし、場外搬出車両への積込みは、事業者が実施）
- ・不燃残渣の処分（本施設より搬出される不燃残渣の場外搬出車両への積込みは、事業者が実施）
- ・焼却灰及び飛灰の資源化（本施設より搬出される焼却灰及び飛灰の資源化事務。ただし、場外搬出車両への積込みは、事業者が実施）
- ・本施設の見学者対応（主体として）
- ・近隣対応（主体として）
- ・運營業務モニタリング
- ・その他これらを実施する上で必要となる業務

6 選定方法

(1) 事業者の選定方法

事業者選定に当たっては、総合評価一般競争入札方式で行った。

(2) 事業者選定委員会の設置

事業提案の審査は、事業者の選定を公平かつ適正に実施するために設置した「北但ごみ処理施設整備・運營業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）」において行った。

【委員会名簿】

委員長 寺嶋 均（一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 会長）

副委員長 市川 陽一（龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 教授）

委員 野瀬 大樹（公認会計士、税理士（野瀬公認会計士事務所））

委員 田中 道男（豊岡市 市民生活部長）

（平成 24 年 10 月 18 日から平成 25 年 3 月 31 日までは足田 仁司）

委員 花登 寿一郎（香美町 町民課長）

（平成 24 年 10 月 18 日から平成 25 年 3 月 31 日までは本庄 正人）

委員 西垣 日出樹（新温泉町 町民課長）

（平成 24 年 10 月 18 日から平成 25 年 3 月 31 日までは中村 茂）

委員 谷 敏明（北但行政事務組合 事務局長）

(3) 事業者選定までの経過及び事業者選定委員会の開催経過

日付	内容
平成24年10月18日 (木)	第1回事業者選定委員会 (事業者選定委員会の運営方法、事業スケジュール(案)、実施方針(案))
平成24年10月30日 (火)	実施方針の公表
平成24年11月 6日 (火) ～11月 8日 (水)	実施方針に対する質問・意見の受付
平成24年11月28日 (水)	実施方針に対する質問・意見への回答の公表
平成24年12月17日 (月)	第2回事業者選定委員会 (入札説明書(案)、要求水準書(案)、落札者決定基準等(案))
平成25年 1月11日 (金)	特定事業の選定の公表
平成25年 1月17日 (木)	第3回事業者選定委員会 (要求水準書(案)、落札者決定基準等(案)、契約書(案))
平成25年 1月31日 (木)	総合評価一般競争入札の公告・入札説明書等の公表
平成25年 2月12日 (火) 平成25年 2月14日 (木) 平成25年 2月19日 (火) 平成25年 2月22日 (金)	現地見学会
平成25年 2月 8日 (金) ～ 2月12日 (火)	入札説明書等に対する質問の受付 (第1回)
平成25年 3月 1日 (金)	入札説明書等に対する質問への回答の公表 (第1回)
平成25年 3月 7日 (木) ～ 3月 8日 (金)	参加表明書、参加資格申請書類の受付
平成25年 3月18日 (月)	参加資格審査結果の通知
平成25年 3月25日 (月) ～ 3月26日 (火)	入札説明書等に対する質問の受付 (第2回)
平成25年 4月12日 (金)	入札説明書等に対する質問への回答の公表 (第2回)
平成25年 4月16日 (火) 平成25年 4月26日 (金)	現地見学会 (2回目)
平成25年 5月28日 (火)	第4回事業者選定委員会 (審査の進め方について)
平成25年 6月17日 (月) ～ 6月18日 (火)	提案書の受付
平成25年 7月23日 (火)	第5回事業者選定委員会 (提案事項に関する意見交換、提案書に関するヒアリング事項(案))
平成25年 8月 5日 (月)	第6回事業者選定委員会 (各グループへのヒアリング、加点審査、開札立会い、優秀提案者の選定) 落札者の決定
平成25年 8月 7日 (水)	落札者の公表
平成25年 9月 2日 (月)	第7回事業者選定委員会 (審査講評(案))

7 審査方法

(1) 参加資格審査

組合は、入札参加者から提出される参加表明書及び参加資格申請書類により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件について確認し、確認の結果を入札参加者の代表企業に対して通知する。入札参加資格要件を満たさない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 基礎審査

組合は、入札参加者から提出された提案書が次に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査する。基礎審査項目について1項目でも満たさない場合は失格とする。

全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該提案書について加点審査を行う。

【基礎審査項目】

審査対象	基礎審査項目	対応する様式
共通事項	<ul style="list-style-type: none">提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案がないこと及び提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。	様式 14～20 設計図書
加点審査項目に関する提案書	<ul style="list-style-type: none">当該提案に関する各様式に示す項目に対する提案の内容が要求水準書を満たしていること。入札説明書等で示したリスク分担の考え方と齟齬がないこと。	様式 14-1 ～20-2
設計図書	<ul style="list-style-type: none">設計・建設業務及び運営業務の提案内容が、要求水準書に示す内容を満たしていること。	設計図書

イ 加点審査

① 審査方法

事業者選定委員会は、提案書に記載された提案内容及び入札価格について、総合的に審査を行う。

提案書に記載された提案内容については、下記③に従い得点化を行う。また、入札価格については、下記④に従い得点化を行う。事業者選定委員会は、提案内容の得点と入札価格の得点との合計（総合評価値）が最も高い提案を行った入札参加者を優秀提案者として選定する。

② 審査項目及び配点

加点審査における審査項目及び配点については、組合が本事業において示した整備方針により次のとおり設定した。

【加点審査における審査項目及び配点】

審査項目	配点	対応する様式
1. 環境保全・公害防止対策に万全な施設	4点	—
(1) 公害防止基準に係る排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の環境対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	2点	様式 14-1
(2) 汚泥の受入・処理における悪臭・ガス対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	2点	様式 14-2
2. 30年以上の稼働を見据えた安全かつ安定的に処理する施設	16点	—
(1) ごみ質、ごみ量の変動に考慮した、設備、運営面で優れた提案がなされているか	3点	様式 15-1
(2) リスクの抽出、管理、対応策について、優れた提案がなされているか	3点	様式 15-2
(3) SPCの財務の健全性の確保について、優れた提案がなされているか	3点	様式 15-3
(4) 直接搬入車、計画収集車等車両動線の安全性、機能性に配慮し、設備、運営面で優れた提案がなされているか	2点	様式 15-4
(5) 維持管理について、優れた提案がなされているか	5点	様式 15-5
3. 廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設	7点	—
(1) 施設稼働に伴うエネルギー消費量（燃料、電気使用量）の削減について、優れた提案がなされているか	5点	様式 16-1
(2) 最終処分量の削減のために、適切性、実現性について、優れた提案がなされているか	2点	様式 16-2
4. 周辺環境と調和した施設	3点	—
(1) 周辺環境に配慮された施設配置、意匠計画等で優れた提案がなされているか	3点	様式 17-1
5. 住民から信頼される施設	6点	—
(1) 環境保全状況の測定回数、状況把握、情報開示へ優れた提案がなされているか	2点	様式 18-1
(2) 災害時の避難拠点として、優れた提案がなされているか	2点	様式 18-2
(3) 見学者説明の諸室・設備について、優れた提案がなされているか	2点	様式 18-3
6. 経済性に優れた施設	17点	—
(1) 地域への社会貢献(地域住民雇用、障害者雇用等)で優れた提案がなされているか	5点	様式 19-1
(2) 地域の企業等との協力・連携体制について、優れた提案がなされているか	5点	様式 19-2
(3) 発電の売電収入を高めるなど運営費の低減を図るため、設備、運営面で優れた提案がなされているか	5点	様式 19-3
(4) ごみ質の低質・基準・高質時に対して経済性の高い提案がなされているか	2点	様式 19-4
7. 環境啓発機能等の整備計画及び施設周辺環境の保全	7点	—
(1) 環境学習拠点施設として、施設整備(周辺整備)及び啓発機能整備で優れた提案がなされているか	5点	様式 20-1
(2) 見学者説明及びイベント開催等に対する支援体制について、優れた提案がなされているか	2点	様式 20-2
8. 入札価格に関する事項	40点	—
合計	100点	—

③ 提案内容の得点化方法

事業者選定委員会は、提案書に記載された内容について、次ページの「加算審査における審査項目及び評価の視点」により、下記の5段階評価で得点を付与する。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該審査項目について特に秀でて優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該審査項目について優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該審査項目について優れていると認められない	配点×0.00

④ 入札価格の得点化方法

組合は、開札を行い、入札書に記載された入札価格が、入札予定価格の範囲内であることを確認するとともに、次の方法により得点を付与する。なお、開札の結果、入札価格が予定価格を超える場合は失格とする。

(算定式)

$$\text{入札価格の得点} = 40 \text{点} - \frac{\text{入札価格} - \text{最低の入札価格}}{1 \text{億円}}$$

- ・入札参加者の中で、最低の入札価格となった提案に対し、価格に関する配点の満点（40点）を付与する。
- ・他の入札参加者の提案については、最低の入札価格との差額を1億円1点の割合で点数換算し、それを配点の満点から減じた得点を付与する。なお、得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

【加点審査における審査項目及び評価の視点】

審査項目	評価の視点	配点
1. 環境保全・公害防止対策に万全な施設		4点
(1) 公害防止基準に係る排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の環境対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	①排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の保証値 ②排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の保証値を遵守するための自主管理値及び方策	2点
(2) 汚泥の受入・処理における悪臭・ガス対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	①設計・施工時における悪臭・ガス対策 ②運営における管理方法(周辺環境並びに作業環境)	2点
2. 30年以上の稼働を見据えた安全かつ安定的に処理する施設		16点
(1) ごみ質、ごみ量の変動に考慮した、設備、運営面で優れた提案がなされているか	①設計・建設におけるごみ量の変動対応 ②設計・建設における汚泥混焼によるごみ質変動への対応	3点
(2) リスクの抽出、管理、対応策について、優れた提案がなされているか	①リスクの管理の方針・体制 ②潜在的なリスクの抽出とそれらのリスク管理・対応策 ③効果的な保険の付保 ④緊急時(地震、火災、停電等)の被害を最小化するための対策	3点
(3) SPCの財務の健全性の確保について、優れた提案がなされているか	①SPCの財務の健全性の確保 ②SPCの財務悪化時の対応策	3点
(4) 直接搬入車、計画収集車等車両動線の安全性、機能性に配慮し、設備、運営面で優れた提案がなされているか	①施設全体の動線計画[滞車スペース・収集車、直接搬入車(混載車含む)の安全性及び搬出入の短縮化、その他の誘導方法・各種設備等] ②プラットホーム内の動線・スペースの計画 ③繁忙期の誘導対応	2点
(5) 維持管理について、優れた提案がなされているか	①30年間の補修・更新計画 ②予防保全等保全計画に関する方策	5点

審査項目	評価の視点	配点
3. 廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設		7点
(1) 施設稼働に伴うエネルギー消費量（燃料、電気使用量）の削減について、優れた提案がなされているか	①要求水準書に示す計画ごみ質（基準ごみベース）を処理するための年間処理計画に基づく燃料及び電気使用量 ②省エネルギー設備・材質やリサイクル品の利用及び自然エネルギーの利用等	5点
(2) 最終処分量の削減のために、適切性、実現性について、優れた提案がなされているか	①焼却主灰、飛灰の削減策並びに他都市での実績	2点
4. 周辺環境と調和した施設		3点
(1) 周辺環境に配慮された施設配置、意匠計画等で優れた提案がなされているか	①全体配置 ②意匠計画	3点
5. 住民から信頼される施設		6点
(1) 環境保全状況の測定回数、状況把握、情報開示へ優れた提案がなされているか	①排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の環境保全状況の測定回数、状況把握、情報開示	2点
(2) 災害時の避難拠点として、優れた提案がなされているか	①設計・建設における避難場所としての整備（滞在環境、通信整備等） ②運営における避難拠点に対してのサポート	2点
(3) 見学者用の諸室・設備について、優れた提案がなされているか	①見学者用諸室の内容及びスペース、材質、設備	2点
6. 経済性に優れた施設		17点
(1) 地域への社会貢献(地域住民雇用、障害者雇用等) で優れた提案がなされているか	①運営における地元及び組合構成市町の住民・障害者雇用の人数、雇用条件	5点
(2) 地域の企業等との協力・連携体制について、優れた提案がなされているか	①設計・建設における組合構成市町内業者への発注及び発注想定概算金額（資材調達含む。） ②運営における組合構成市町内業者への発注及び発注想定概算金額（資材調達含む。）	5点

審査項目		評価の視点	配点
(3) 発電の売電収入を高めるなど運営費の低減を図るため、設備、運営面で優れた提案がなされているか	①発電効率 ②発電量を高める運営方法 ③一定の運転状態における想定売電量及び提案する運転計画における想定年間売電量 ④その他運営費低減への工夫	5点	
(4) ごみ質の低質・基準・高質時に対して経済性の高い提案がなされているか	①処理能力曲線の提示 ②要求水準書に示す計画ごみ質の低質側、基準、高質側の燃料及び薬剤費等の計画（リサイクルと管理棟は除く。）	2点	
7. 環境啓発機能等の整備計画及び施設周辺環境の保全			7点
(1) 環境学習拠点施設として、施設整備(周辺整備)及び啓発機能整備で優れた提案がなされているか	①施設整備(周辺整備)計画 ②施設整備(周辺整備)における啓発機能 ③施設内における啓発機能	5点	
(2) 見学者説明及びイベント開催等に対する支援体制について、優れた提案がなされているか	①見学者説明及びイベント開催等に対する支援体制	2点	
合 計			60点

8 審査結果

(1) 参加資格審査

平成 25 年 1 月 31 日に入札公告を行い、平成 25 年 3 月 7 日から 3 月 8 日に参加表明書及び資格審査申請書類を受け付けたところ、次の 2 グループ（以下「当該グループ」という。）から入札参加の申請があった。参加資格審査にて入札参加資格を有することを確認し、平成 25 年 3 月 18 日に当該グループに対し入札参加資格審査結果を書面にて通知した。

【入札参加者一覧表】

荏原環境プラントグループ	
代表企業	荏原環境プラント株式会社
設計企業（建屋）	荏原環境プラント株式会社
設計企業（クリーンセンターのプラント）	荏原環境プラント株式会社
設計企業（リサイクルセンターのプラント）	荏原環境プラント株式会社
建設企業（建屋）	荏原環境プラント株式会社
建設企業（管理棟）	株式会社川嶋建設
	株式会社中川工務店
	合資会社中村組
建設企業（クリーンセンターのプラント）	荏原環境プラント株式会社
建設企業（リサイクルセンターのプラント）	荏原環境プラント株式会社
運営企業（クリーンセンター）	荏原環境プラント株式会社
	O E S アクアフオーコ株式会社
運営企業（リサイクルセンター）	荏原環境プラント株式会社
	O E S アクアフオーコ株式会社

タクマグループ	
代表企業	株式会社タクマ
設計企業（建屋）	株式会社タクマ
設計企業（クリーンセンターのプラント）	株式会社タクマ
設計企業（リサイクルセンターのプラント）	株式会社タクマ
建設企業（建屋）	株式会社タクマ
建設企業（管理棟）	株本建設工業株式会社
	株式会社川見建設
	株式会社西山工務店
建設企業（クリーンセンターのプラント）	株式会社タクマ
建設企業（リサイクルセンターのプラント）	株式会社タクマ
運営企業（クリーンセンター）	株式会社タクマテクノス西日本支社
	株式会社タクマ
運営企業（リサイクルセンター）	株式会社タクマテクノス西日本支社
	株式会社タクマ

なお、当該入札参加者には、提案書作成にあたって、次のグループ名を用いるよう通知した。したがって、事業者選定委員会は具体的な企業名を知ることなく加点審査を行った。

入札参加者	グループ名
荏原環境プラントグループ	赤グループ
タクマグループ	青グループ

(2) 基礎審査

平成 25 年 6 月 17 日から 18 日に当該グループから提案書の提出があり、組合が基礎審査を行ったところ、基礎審査項目すべてを満たしていることを確認した。

(3) 加点審査

ア 提案内容の得点化

事業者選定委員会は当該グループの提案書について、落札者決定基準に基づき加点審査を行った。加点審査のうち、提案内容については審査項目毎に評価を行った。審査結果は、次表「加点審査結果一覧表」に示すとおりである。また、事業者選定委員会が評価した事項を「事業者選定委員会の評価した事項一覧」に示す。

【加点審査結果一覧表】

審査項目	赤グループ		青グループ	
	評価結果	得点	評価結果	得点
1. 環境保全・公害防止対策に万全な施設		2.50点		3.00点
(1) 公害防止基準に係る排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の環境対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	B	1.50点	B	1.50点
(2) 汚泥の受入・処理における悪臭・ガス対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	C	1.00点	B	1.50点
2. 30年以上の稼働を見据えた安全かつ安定的に処理する施設		10.75点		12.00点
(1) ごみ質、ごみ量の変動に考慮した、設備、運営面で優れた提案がなされているか	C	1.50点	B	2.25点
(2) リスクの抽出、管理、対応策について、優れた提案がなされているか	B	2.25点	B	2.25点
(3) SPCの財務の健全性の確保について、優れた提案がなされているか	B	2.25点	B	2.25点
(4) 直接搬入車、計画収集車等車両動線の安全性、機能性に配慮し、設備、運営面で優れた提案がなされているか	C	1.00点	B	1.50点
(5) 維持管理について、優れた提案がなされているか	B	3.75点	B	3.75点
3. 廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設		4.75点		4.00点
(1) 施設稼働に伴うエネルギー消費量(燃料、電気使用量)の削減について、優れた提案がなされているか	B	3.75点	C	2.50点
(2) 最終処分量の削減のために、適切性、実現性について、優れた提案がなされているか	C	1.00点	B	1.50点
4. 周辺環境と調和した施設		2.25点		1.50点
(1) 周辺環境に配慮された施設配置、意匠計画等で優れた提案がなされているか	B	2.25点	C	1.50点
5. 住民から信頼される施設		4.50点		5.00点
(1) 環境保全状況の測定回数、状況把握、情報開示へ優れた提案がなされているか	B	1.50点	B	1.50点
(2) 災害時の避難拠点として、優れた提案がなされているか	B	1.50点	A	2.00点
(3) 見学者用の諸室・設備について、優れた提案がなされているか	B	1.50点	B	1.50点
6. 経済性に優れた施設		11.50点		12.75点
(1) 地域への社会貢献(地域住民雇用、障害者雇用等)で優れた提案がなされているか	B	3.75点	B	3.75点
(2) 地域の企業等との協力・連携体制について、優れた提案がなされているか	C	2.50点	B	3.75点
(3) 発電の売電収入を高めるなど運営費の低減を図るため、設備、運営面で優れた提案がなされているか	B	3.75点	B	3.75点
(4) ごみ質の低質・基準・高質時に対して経済性の高い提案がなされているか	B	1.50点	B	1.50点
7. 環境啓発機能等の整備計画及び施設周辺環境の保全		3.50点		4.75点
(1) 環境学習拠点施設として、施設整備(周辺整備)及び啓発機能整備で優れた提案がなされているか	C	2.50点	B	3.75点
(2) 見学者説明及びイベント開催等に対する支援体制について、優れた提案がなされているか	C	1.00点	C	1.00点
提案内容の得点合計		39.75点		43.00点

事業者選定委員会の評価した事項一覧

審査項目	赤グループ	青グループ
1. 環境保全・公害防止対策に万全な施設		
(1) 公害防止基準に係る排ガス・排水・騒音・振動・悪臭等の環境対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス、騒音、振動、排水等の保証値について要求水準より優れた提案がされており、評価できる。 ・提案された保証値に対して、より低い自主管理値を設けており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス、騒音、振動、悪臭等の保証値について要求水準より優れた提案がされており、評価できる。 ・提案された保証値に対して、より低い自主管理値を設けており、評価できる。
(2) 汚泥の受入・処理における悪臭・ガス対策について、設備、運営面で優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥の受入・処理に対して、悪臭対策について配慮した搬入管理方法が提案されており、評価できる。 ・臭気測定等による漏洩管理方法について提案されており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥の受入・処理に対して、汚泥専用受入室を設ける等、悪臭・ガス対策について配慮した設計が評価できる。 ・臭気測定等による漏洩管理方法について提案されており、評価できる。
2. 30年以上の稼働を見据えた安全かつ安定的に処理する施設		
(1) ごみ質、ごみ量の変動に考慮した、設備、運営面で優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ量への変動対応として、効果的なピット貯留対策が提案されており、評価できる。 ・汚泥混焼によるごみ質変動へ対応したごみピット構造の提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ量への変動対応として、効果的なピット貯留対策が提案されており、評価できる。 ・汚泥混焼によるごみ質変動へ対応した構造や攪拌対策等の具体的な提案がされており、評価できる。
(2) リスクの抽出、管理、対応策について、優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理に関する基本的な考え方が整理されており、評価できる。 ・リスク管理委員会の設置が、内容、開催頻度等とともに提案されており、評価できる。 ・組合が実施する資源化について有効な提案があり評価できる。 ・緊急時における具体的な対策が多数提案されており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理に関する基本的な考え方が整理されており、評価できる。 ・リスク管理委員会の設置が、内容、開催頻度等とともに提案されており、評価できる。 ・運転停止時の対応、組合が実施する資源化について有効な提案があり評価できる。 ・緊急時における具体的な対策が多数提案されており、評価できる。

<p>(3) SPCの財務の健全性の確保について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準を上回る手厚い資本金が計画されており評価できる。 ・事業期間を通じて安定した事業収支計画が提案されており評価できる。 ・不測の事態における追加的資金確保方策が具体的に提案されており評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準を上回る手厚い資本金が計画されており評価できる。 ・事業期間を通じて安定した事業収支計画が提案されており評価できる。 ・不測の事態における追加的資金確保方策が具体的に提案されており評価できる。
<p>(4) 直接搬入車、計画収集車等車両動線の安全性、機能性に配慮し、設備、運営面で優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接搬入車の安全性及び搬入の短縮化に配慮した提案が評価できる。 ・繁忙期の誘導対応として、優れた提案がされており、評価できる。 ・繁忙期用仮置きエリアを確保している点について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接搬入車の安全性及び搬入の短縮化に配慮した提案が評価できる。 ・特に施設一般来場者等に配慮した車両動線の提案が評価できる。 ・繁忙期の誘導対応として、優れた提案がされており、評価できる。
<p>(5) 維持管理について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・21年目以降の10年間の補修費が軽減するような補修計画が提案されており、評価できる。 ・事業期間終了後のサポート支援が評価できる。 ・予防保全(TBM)に対し具体的な提案等が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・21年目以降の大規模な更新工事を実施しない提案がされており、評価できる。 ・事業期間終了後のサポート支援が評価できる。 ・予防保全(TBM)に対し具体的な提案等が評価できる。
<p>3. 廃棄物の資源化を図り、循環型社会の形成に資する施設</p>		
<p>(1) 施設稼働に伴うエネルギー消費量(燃料、電気使用量)の削減について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料及び電気使用量の優れた提案がされており、評価できる。 ・管理棟のZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)化を図る提案がされており、評価できる。 ・内・外部仕上げ材に地域産杉や熱処理木材の利用を提案されており、評価できる。 ・クリーンセンターの補助燃料の一部として、木質ペレット等の利用が提案されており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料及び電気使用量の優れた提案がされており、評価できる。 ・再生木材を屋外デッキ・ベンチ等に活用する提案がされており、評価できる。 ・省エネ委員会の設置やエネルギー管理士等を中心に、改善策を検討し、対策を実施する取組みを提案されており、評価できる。
<p>(2) 最終処分量の削減のために、適切性、実現性について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準を上回る熱勾減量の値が提案されており、評価できる。 ・展開検査にて、金属・不燃物分の抜き取り分別を行い、ごみピットへ混入防止する提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準を上回る熱勾減量の値が提案されており、評価できる。 ・飛灰循環システムの導入等による薬品添加量の削減及び、排出飛灰量の削減の提案がされており、評価できる。

4. 周辺環境と調和した施設		
(1) 周辺環境に配慮された施設配置、意匠計画等で優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなアプローチによる管理棟と周辺自然環境をつないだ提案がされており、評価できる。 ・在来樹種を用いた植栽計画の提案がされており、評価できる。 ・自然資源を活かした景観と木材の地産地消の提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなアプローチによる管理棟と周辺自然環境をつないだ提案がされており、評価できる。 ・里山風景との調和をはかるための提案がされており、評価できる。
5. 住民から信頼される施設		
(1) 環境保全状況の測定回数、状況把握、情報開示へ優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境保全状況の測定回数について要求水準より優れた提案があり、評価できる。 ・地元協議会等を用いた情報提供方法など優れた提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等の環境保全状況の測定回数について要求水準より優れた提案があり、評価できる。 ・地元協議会等を用いた情報提供方法など優れた提案がされており、評価できる。
(2) 災害時の避難拠点として、優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所としてのスペースの確保やプライバシーに配慮した設計を提案されており、評価できる。 ・被災時を想定した、電力の確保について、優れた提案がされており、評価できる。 ・緊急時の外部との通信方法確保の提案がされており、評価できる。 ・被災時のバックアップ体制確保等の提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所として十分なスペースの確保やプライバシーに配慮した設計を提案されており、評価できる。 ・被災時を想定した、水・電力等の確保について、優れた提案がされており、評価できる。 ・緊急時の外部との通信方法確保の提案がされており、評価できる。 ・被災時の十分なバックアップ体制確保等の提案がされており、評価できる。
(3) 見学者用の諸室・設備について、優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・地元材等を活用した施設整備や再生品等を活用した提案がされており、評価できる。 ・見学内容について、最新映像技術の採用や体験型の提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生品等を活用した具体的な提案がされており、評価できる。 ・見学内容について、体験型やごみ処理の流れを分かりやすく説明するなどの提案がされており、評価できる。
6. 経済性に優れた施設		
(1) 地域への社会貢献(地域住民雇用、障害者雇用等)で優れた提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に多くの地域住民を雇用する提案があり評価できる。 ・外部機関を活用した従業員教育計画の提案があり評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に多くの地域住民を雇用する提案があり評価できる。 ・地域採用者の技術レベル向上、障害者の就労モチベーション等を考慮した教育システムの提案があり評価できる。

<p>(2)地域の企業等との協力・連携体制について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設計・建設においては、地域企業に対し計 35 億円の発注を想定しており評価できる。 運営においては、地域企業に対し計 45 億円の発注を想定しており評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 設計・建設においては、地域企業に対し計 36 億円の発注を想定しており評価できる。 運営においては、地域企業に対し計 54 億円の発注を想定しており評価できる。 地域発注の履行状況について、組合が定期的に確認できるシステムの提案があり評価できる。 地域活動に積極的に参加、協賛する提案があり評価できる。
<p>(3)発電の売電収入を高めるなど運営費の低減を図るため、設備、運営面で優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高い発電効率の提案がされており、評価できる。 2 炉運転を長く確保することにより、発電量が高まる運営方法の提案がされており、評価できる。 組合にとって有利な売電単価を提案されており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高い発電効率の提案がされており、評価できる。 2 炉運転を長く確保することにより、発電量が高まる運営方法の提案がされており、評価できる。 組合にとって有利な売電単価を提案されており、評価できる。
<p>(4)ごみ質の低質・基準・高質時に対して経済性の高い提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広いごみ質に対応する提案がされており、評価ができる。 経済性を考慮し、調達計画を踏まえた機器容量の設定及び助燃材の削減に関する提案がされており、評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広いごみ質に対応する提案がされており、評価ができる。 経済性を考慮し、助燃材の削減及び消石灰量等の削減に関する提案がされており、評価できる。
<p>7. 環境啓発機能等の整備計画及び施設周辺環境の保全</p>		
<p>(1)環境学習拠点施設として、施設整備(周辺整備)及び啓発機能整備で優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 急斜面の多い計画地で、勾配を考慮した遊歩道の提案がされており、評価できる。 特徴的な野鳥観察施設を整備する提案が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 炭焼き小屋、シイタケ栽培エリア、棚田、落葉堆肥エリア、段々畑の整備等、多くの体験的な環境教育を提案されており、評価できる。 ルート上に多様な森の魅力を楽しめるテーマを整備する提案がされており、評価できる。 自然素材を使ったシカの侵入対策の提案がされており、評価できる。
<p>(2)見学者説明及びイベント開催等に対する支援体制について、優れた提案がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設安全マップ作成等の見学引率者の立場にたった提案が評価できる。 地域の環境活動の母体となることを考え、NPO 設立等の提案がされており、評価できる。 環境系イベントを 3 年ごとに SPC が自主開催する提案がされており、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の見学も想定し、SPC 職員による見学者対応体制を整備することや対応増員も想定した提案がされており、評価できる。 専門家の意見も取入れた見学プログラム作成の提案が評価できる。 事業期間終了後に地域住民が主体となってイベントを運営することを見据えた支援の提案がされており、評価できる。

イ 入札価格の得点化

入札価格の得点化に先立ち、入札参加者及び事業者選定委員会の立会いのもと、先ず提案内容の得点化結果を入札参加者に通知した上で、入札書の開札を行った。その結果、当該2グループの入札価格が、予定価格の範囲内であること、低入札価格調査基準価格を越えていることを確認した。

落札者決定基準に基づき、当該2グループの入札価格について得点化を行い、次のとおりとなった。

	赤グループ	青グループ
入札価格（税抜）	20,090,000,000円	17,261,000,001円
入札価格の得点	11.71点	40.00点

※予定価格（入札説明書において事前公表）：20,308,000,000円（税抜）

※低入札価格調査基準価格（入札説明書において事前公表）：17,261,000,000円（税抜）

ウ 優秀提案者の選定

事業者選定委員会では、提案内容の得点と入札価格の得点との合計値を総合評価値とし、総合評価値の最も高い青グループを優秀提案者として選定した。

	赤グループ	青グループ
提案内容の得点	39.75点	43.00点
入札価格の得点	11.71点	40.00点
合計（総合評価値）	51.46点	83.00点

9 落札者の決定

組合は、事業者選定委員会の選定結果を踏まえ、平成25年8月5日にタクマグループ（青グループ）を落札者として決定した。

10 落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果

落札者の落札価格に基づき、本事業をDBO事業として実施する場合の本組合の財政支出と本組合が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、次に示すとおり、現在価値換算で33.1%の財政支出の削減が見込まれる結果となった。

（現在価値換算金額）

①従来方式における本組合の財政支出	10,865,592千円
②DBO方式における本組合の財政支出	7,263,920千円
③DBO方式の導入による財政支出の削減効果（＝①－②） 【(①－②) ÷ ① × 100】	3,601,672千円 【33.1%】

※①については、平成25年1月11日に公表した特定事業の選定における前提条件の一部（工事監理費）を見直すことにより算出した。

※②については、組合が落札者に支払う本事業に係る設計、建設及び運營業務に係る対価から売電等の収入を控除し、DBO方式の実施に伴う直接的な経費（モニタリング費等）を加え、さらに本事業に係る組合の財政収支（国からの交付金収入、交付税措置、起債償還額）を考慮した金額である。

1 1 審査講評

本事業は、組合が本施設の建設及び運営の業務を一括して長期間委ねることにより、民間事業者が創意工夫し、本施設に係る組合財政負担の縮減及び公共サービス水準の向上を図ることを目的とするものである。

本事業に応募者として参加するには多大な努力と準備が必要となるものであるが、最終的に2グループから応募があった。そして、両グループから提出された提案書は、いずれも独自の技術やノウハウが随所に組み込まれた極めて優れた提案であり、両グループの熱意と技術力には深く感謝の意を表する。

事業者選定委員会では審査の結果、提案内容の得点と入札価格の得点を合計した総合評価値で最も高い得点を獲得した、株式会社タクマを代表企業とするタクマグループ（青グループ）を優秀提案者として選定した。なお、この選定結果は、価格差による部分が大きく、価格以外の評価項目においては、両グループの差は僅かな差であった。

今後、タクマグループは組合と事業契約を締結し、事業を実施していくことになる。その際に、タクマグループに対しては、次の点に留意し、事業を実施されたい。

- ・要求水準として示した事項に対して追加的に提案された事項については大いに評価している。これらを確実に履行し高品質な住民サービスが提供されることで、本事業方式の優れた点が広く認識されることを期待する。
- ・北但地域の暮らしを支える一企業となる運營業務実施会社（SPC）が、早く地元に関わり込むことを期待する。
- ・省エネルギー技術のさらなる活用を期待し、積極的な自然エネルギーの活用に対してもさらなる配慮を期待する。
- ・提案された地元企業の活用を確実に実施するとともに、従業員の雇用条件、労働環境について十分な配慮を期待する。

北但ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
委員長 寺嶋 均